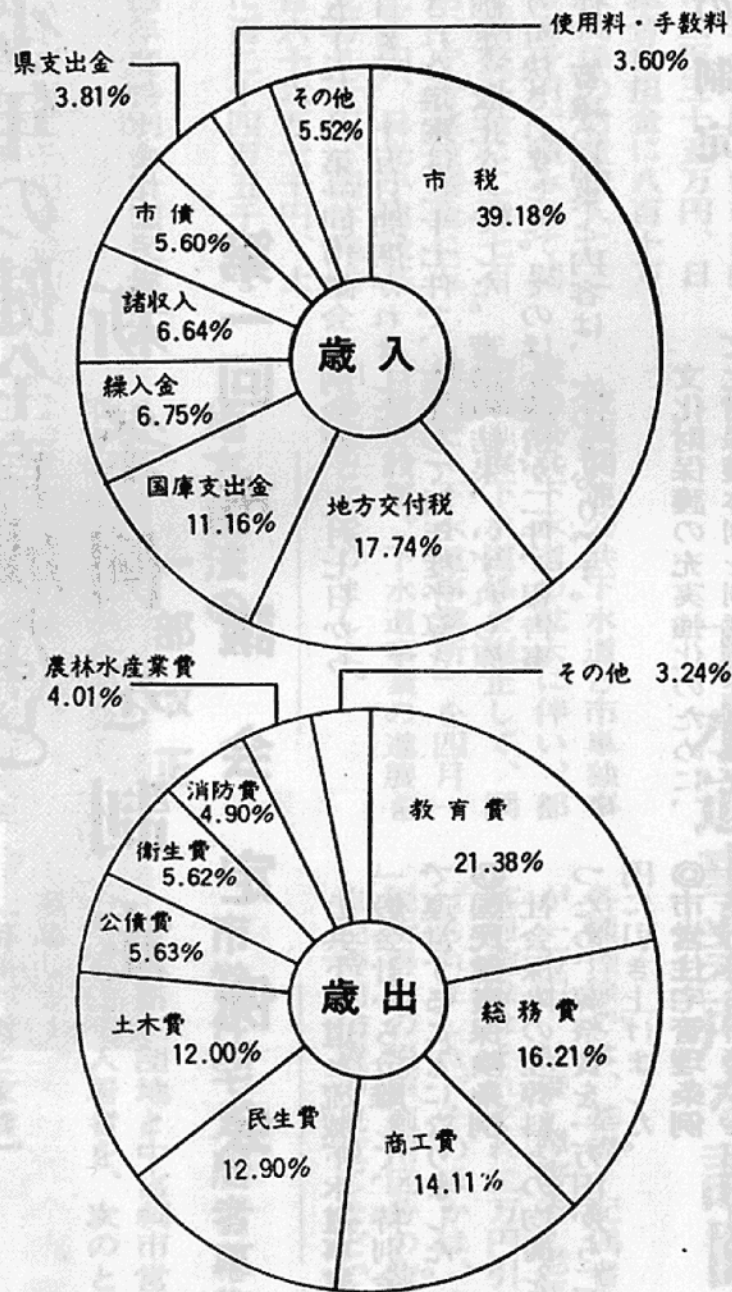


### 一般会計予算の内訳 総額47億7千9百万円



抑制、投資的経費を確保するための予算編成になりました。その結果、昭和五十五年度の予算規模は、一般会計が四十七億七千九百万円で、前年と比較すると二・八六%の伸びになります。特別会計は、本年度から新設された下水道事業が五億二千九百二十三万九千円。国民健康保険事業は六億七千四百五十五万八千円（二・九七%増）。ユースホステル事業は一千六百九十八万二千円（一一・二二%増）。小来川診療所は二千六百二十二万三千円（八・二七%増）。

企業会計は、リフト事業が収益的支出一億三千八百一十一万三千円（一一・四%増）、資本的支出二千七十九万三千円（二六・一六%増）。

### 重点施策

## 学校・市営住宅など建設 市民生活の基盤を整備

#### ◇教育・文化の向上◇

本年度から二か年の継続事業として日光小学校校舎建設、清滝小学校屋内体育館建設などを行うほか、教育施設整備のため「建設基金」を設定しました。

社会教育面では、公民館・図書

館の充実。中宮祠地区をモデルコミューンに指定、連帯感のある地域づくりを推進。さらに、本年開催される「栃の葉国体」を契機に「市民体位の向上」の充実を図るとともに、県当局に「インドアスケートリンク」の早期建設を要請します。

減）。水道事業は収益的支出一億八千八百五十一万五千円（一・六三%増）、資本的支出二千七百九十万六千円（一三・六二%減）。

一般会計と特別会計、企業会計を合わせると総額六十四億一千三百九十九万九千円、前年と比較すると一三・一六%の伸びになります。

#### ◇社会福祉の増進◇

老人福祉をはじめ障害者、児童、母子福祉などを引き続き充実させることに努力。国民健康保険においても、加入者の負担増を極力抑制。また、過疎化対策の一環として実施した宅地分譲については、融資事業を拡大。さらに消費実態調査を行い、市民生活の安定を図ることにしています。

#### ◇市民生活基盤の整備◇

市道の改良・舗装整備は、年次計画で逐次整備。橋りょうについても赤沢橋の架け替え調査を行い、その他の架け替え工事と用水、排水路の整備を行います。

日光市の悲願である「七里地区区画整理事業」は、関係住民の理解と協力を得て施行、人口の定着化を図ることになります。

#### ◇産業の振興◇

観光・商工業者の助成事業を拡大、中小企業者の育成を図ります。観光施設面では、所野公園、霧降高原、奥日光地域を整備、それに併せて公衆便所を建設。

農林業についても農用幹線道路を整備、新林構実験事業を促進して、農林業の振興を図ることにしています。

下水道事業は、中宮祠地区の事業拡大に伴う処理場を改良。また、市内を対象とした関連公共下水道に着手します。市営住宅は、湯元地区に中層耐火住宅十二戸を建設。

女人禁制の間、女性は、この堂までしか入れず、山を遥拝してはここから帰った。牛馬の背で運んで来た品物は、ここから強力により運びあげたという。文字通りの馬返であり、牛返でもあった。むかしは、堂の真中が通路であったといひ、堂の左手、山側に地蔵尊が祀られ、右側が休憩所であった。そのため地蔵堂とも呼ばれ、またの名を中禅寺東門とか禅那派羅密門とも呼んだという。

中禅寺湖畔、朱の大鳥居の足もとに「巫女石」というのがある。柵に囲まれたその石は、人がうずくまるような姿にも見えるが、女人禁制のおきてを破り、神に仕える身だからと、山に登った巫女が、中禅寺湖畔に出たとたん、たちまち身がすくみ、石に化したという伝説の石である。

これと同じような話に、女人堂まで荷物を運んだ牛飼が、強力に変えて運ぶのは大変とばかり、そのまま牛の背に荷物をつけて山を登った。

ところが、湖畔に出たとたんに、この牛も石と化してしまったという。この石は牛石と呼ばれ、中宮祠の社号標の近くにあったというが、道路改修などで埋ってしまったのか、現在はいくらさがしても見当たらない。